

これが市の家計簿

財政公表 43.4.1~43.9.30

積立金及び有価証券 44,363千円



建物83,523m²

市有財産



土地652,460m²

はじめに

昭和四十三年の地方財政は昨年度に引続き経済の拡大基調を反映し、地方税、地方交付税が増加し、地方財政の改善がみられ、本年度は順調に推移するものと見られています。

しかし人口急増を続ける市の財政の概要についてお知らせします

一般会計収入支出の概要

初予算額は二十四億四千八百円で前年度当初予算と比較すると五億一千二百二十八万八千六百六十九円(二一・五%)の増加となっています。

歳入歳出の構成は、歳入が市税五七・七%、市債一七・五%、国庫支出金一五・五%、その他一六・八%になっており歳出では教育費三三・一%、処理場建設費、道路新設改良費二一・八%、総務費十二・三%、都市計画道路事業費、公益施設建設費、消防施設整備費、一三・四%、土木増設費、三・四%となっています。

投資的経費の主なもの、し尿南部小新築、富勢中プール建設、起債を大幅に計上し予算規模が増

建設事業

九月末の収入は九億九千九百三十九万九千九百九十九円に達し、歳出予算に占める割合では三十三%になります。

政は、人口増加、市街化対策の財政需要が多いため多額の起債により建設事業をすすめておりこのため起債の償還金やその他の義務的経費も著しく増加した財政運営を続けています。

財政公表は市財政の運営を市民の皆さんにお知らせするものです。今号では、昭和四十三年の上期と昭和四十二年決算の概要についてお知らせします

住民負担の状況

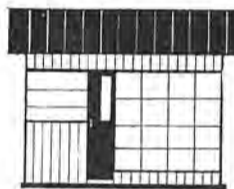
六小校地(住宅公園取分)一小大したためです。また支出は七億九千九百九十九円、二十七・九%で前年度より四・一%の上昇で計画事業を年度内に完成させるよう早期着工をはかったためです。

調定額収入額の税目別住民負担状況は別図の通りとなっています

現年度分市税の九月末調定額は十億六千六百六十二万五千円で、市民一人当たり八千二百八十四円、一世帯当り三万二千六百一十円、前期に比べ一人当たり三百八十三円、一世帯当り一千二百円それぞれ増加しております。

1世帯当り 31,601円

1人当り 8,284円



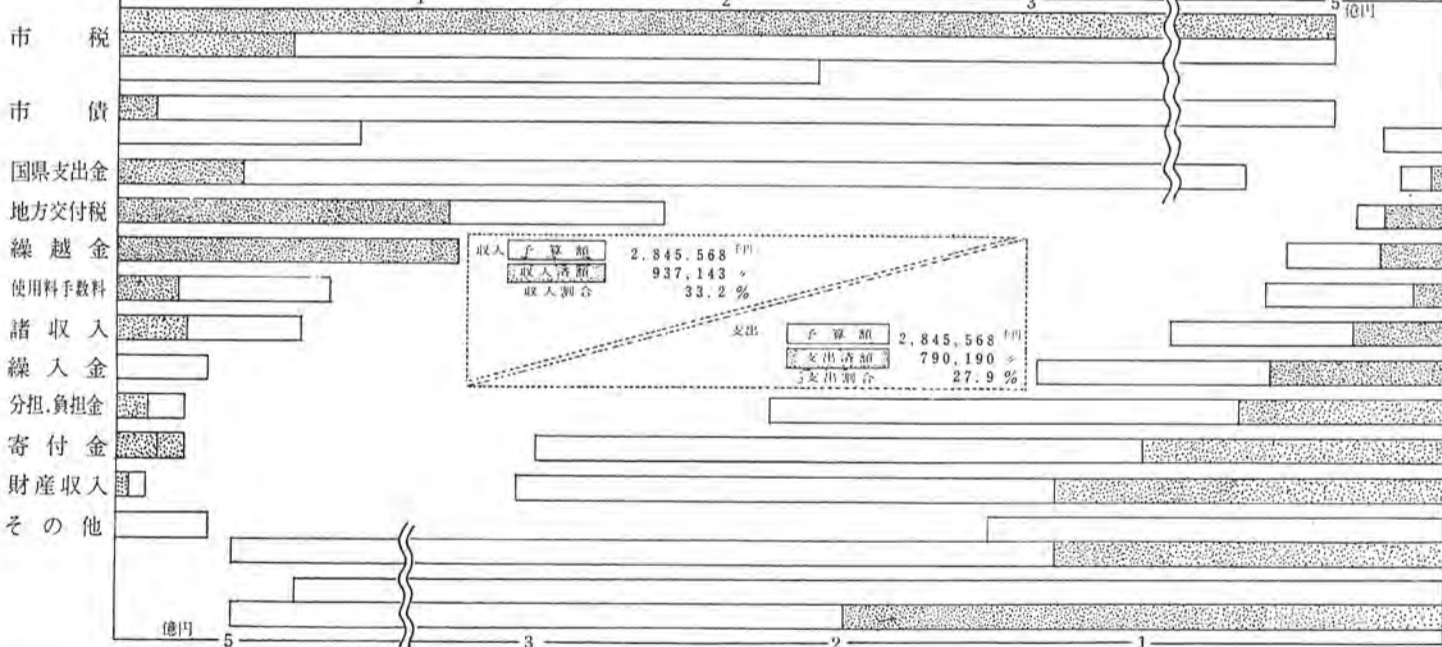
総務債	119,466千円
衛生債	55,305
土木債	155,067
消防債	14,434
教育債	597,842
災害復旧債	107

公益質屋事業債	193千円
有線放送事業債	8,400
下水道事業債	132,847
地域開発事業債	412,500

市債

43.9.30現在 (単位千円)

昭和43年度一般会計予算収支状況 43.9.30現在



市税
市債
国庫支出金
地方交付税
繰越金
使用料手数料
諸収入
繰入金
分担負担金
寄付金
財産収入
その他

費
労働工費
備商議農水産費
防費
生費
務費
木費
教費

市税	462,450
市債	526,661
国庫支出金	341,264
地方交付税	375,333
繰越金	31,841
使用料手数料	2,186
諸収入	47,177
繰入金	52,963
分担負担金	33,244
寄付金	41,058
財産収入	45,535
その他	53,414

かしわ

一九六八年

(太字は写真掲載)

- 一月
 - 元旦マラソン
 - 成人式(市内で三千七名が成人)
 - 市民スキー教室(堂津スキー場)
 - 第一回臨時市議会
 - 消防出初式(柏中校庭)
 - 柏警察署新庁舎落成
- 二月
 - 学校環境衛生検査
 - 高野台改良住宅完成
 - 第二回臨時市議会
 - 昭和四十二年冬季農業学校大雪(戦後三番目)
- 三月
 - 柏二中体育館落成
 - 光ヶ丘中学校落成
 - 市内最古の民家調査・布鹿島田さん宅
 - 中原青年館落成
 - 三月定例市議会
 - 浦畑農高生実習のため来柏
 - 盲人に声の広報用テープコーダー寄贈(柏ライオンズクラブ)
 - 十余二葉団地公算
- 四月
 - 体力づくり歩行運動
 - 市民プール着工
 - 布鹿踏山公園桜まつり
 - 春の交通安全運動
 - 青年の目撃樹(光ヶ丘中学校)
 - 第一回歩く市民教室
 - 春の防犯運動
- 五月
 - 子ども大会
 - 日本体操祭柏大会
 - 荒久山団地子どもの家・根戸東陽寺遊歩場完成
 - 少年補習委員委嘱する
 - 十勝沖地震
 - 街ぐるみワイドショーで藤沢市と対戦(東京12チャンネルスタジオ)
 - 国道の交差点に交通監視テレビ設置・警察
- 六月
 - 県民三百万人目の赤ちゃん誕生(豊四季団地の河野さん)
 - 総合グラウンド着工
 - ママさんバレー大会(東葛高体育館)
 - 定例市議会



特別会計収支状況

特別会計事業別収支状況について、中ず。それぞれ内容別にみると、国民健康事業は九十九年度被保険者が一万二千六百七十七世帯、三万三千三百九十人、前年度より増加しています。柏駅西口地区整理事業は、買収済用地は造成工事完了し、企業公債による借入の結果八社の進出が決定しました。

43年度特別会計事業別収支状況

事業別	予算額	収入済額	支出済額
国民健康保険事業	302,330 千円	103,826 千円	91,325 千円
公益質屋事業	7,473	3,616	4,053
有線放送事業	15,065	6,338	6,649
柏駅西口地区整理事業	238,995	0	193,118
下水道事業	78,330	18,127	7,074
地域開発事業	860,000	773,803	541,846

水道事業の概要

本年度は、工事（口径三百ミリ、深度六百六十メートル、揚水量一日千五百トン）の完成により、業務の状況では、昭和四十二年九月末で総水量一億五千三百八十七万七千七百七十七リットルを達成し、前年度同期の二億二千七百七十七万七千七百七十七リットルに比し、約半減を示しています。

第一、次給水ポンプが昭和四十二年九月末で、有収量は七十九・九％となっており、高い稼働率を示しています。

經理については、収益総額が七千九百五十三万三千二百四十四円、うち給水収益は六千四百四十八万四千四百八十八円、延長六百六十メートル、宮内水源地、第二水源地、第三水源地、第九号井、千八百八十円で九・四％、その他の井工事（口径三百ミリ）、深度百六十メートル、揚水量一日千五百トン、収益は二百四十四万七千六百九十二円、それぞれ一・一％と二・四％の割合となつています。

昭和43年度上半期水道事業貸借対照表

資産の部		負債及び資本の部	
勘定科目	金額	勘定科目	金額
土地	22,912,930	修繕引当金	25,832
建物	24,442,026	固定負債合計	25,832
構築物	376,620,958	建設工事未払金	0
機械及び器具	94,727,067	貯蔵品購入未払金	5,727,700
車両運搬具	3,586,980	営業前受入金	2,813,918
建設仮当金	1,003,194	営業前保証金	2,282,000
投資有価証券	14,445	預り担保有価証券	500,000
現金	530,520	流動負債合計	11,323,618
固定資産合計	538,838,120	減価償却引当金	15,446,558
現金	75,990,302	引当金合計	15,446,558
預金	3,636,799	自己資本	155,118,864
有価証券	2,160,000	資本金合計	348,875,434
固定資産	13,975,831	資本金合計	503,994,298
流動資産	1,029,080	工事寄付負債額	16,130,154
流動資産合計	97,315,012	受贈財産評価額	31,295,280
		資本積立金	6,333,435
		建設改良積立金	12,000,000
		建設改良積立金	11,808,150
		当年度未処分利益剰余金	374,434
		剰余金合計	77,941,453
		上半期差益	27,421,373
資産合計	636,153,132	負債及び資本合計	636,153,132

決算見込みの概要

昭和42年度

昭和四十二年の一般会計、特別会計の決算見込みは、歳入が三億五千九百六十八万八千円、歳出が二億七千七百七十五万五千円となり、前年度に比べ歳入五億一千六百五十八万八千円、歳出二億三千五百八十八万八千円増加しています。

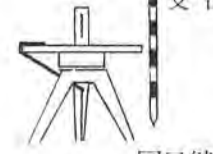
一般会計は歳入が二億三千九百三十二万四千円、歳出が二億二千六百六十六万四千円、前年度よりそれぞれ三十四・四％、四十四・六％の増加で前年度の伸び率を三十四・四％、歳出十九・七％と比較すると、天額な増加を示しています。

特別会計は国民健康保険事業、西口地区整理事業、有線放送事業、地域開発事業、公益質屋事業、下水道事業の六会計で、歳入は九億七千五百四十四万八千八百円、歳出は七億三千四百八十六万五千四百円、前年比で歳入は一億九千九百九十二万八千八百円、歳出は一億八千三百三十三万三千四百円、それぞれ一・九％、二・七％の増加で、地域開発事業は土地の売却が予定より進んだため、一億八千七百七十五万五千円と多額の繰り越しとなりました。

地域開発
予算額 630,006
収入額 641,681
支出額 222,966



西口地区整理
予算額 221,086
収入額 28,857
支出額 24,157



国民健康保険
予算額 218,756
収入額 220,225
支出額 216,259

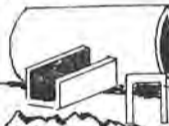


単位千円

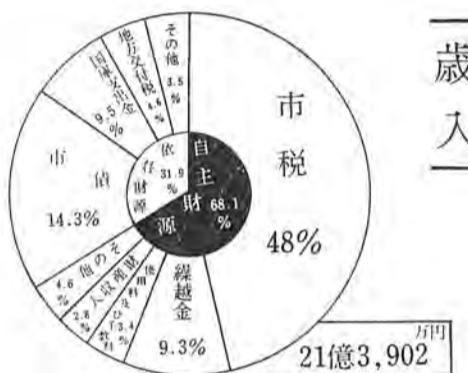
公益質屋
予算額 630,006
収入額 641,681
支出額 222,966



下水道
予算額 81,635
収入額 63,763
支出額 61,936



有線放送
予算額 14,015
収入額 13,956
支出額 13,247



今後の財政方針

本市は首都圏都市として、急激な変遷による急激な立地条件から人口が急増し、十一月末現在十三万四千五百九十一人を数え前年同期より八千六百九十九人増加し、今後とも引き続き増加して行くものと見られます。

この急激な発展のため、教育、土木、環境衛生施設等の整備の財政需要は膨大なものがあります。今後、本市として発展してきたため、財政の伸びが少なく、人口急増対策が多岐にわたります。財政の増大を確保し、市民の生活向上に努めます。

この急激な発展のため、教育、土木、環境衛生施設等の整備の財政需要は膨大なものがあります。今後、本市として発展してきたため、財政の伸びが少なく、人口急増対策が多岐にわたります。財政の増大を確保し、市民の生活向上に努めます。

七月

参議院議員選挙
南浦新設小地鎮祭
我孫子・柏共済水防演習
臨時市議会
市内水田ワシカ発生状況調査
夏祭り

八月

市民吹奏楽演奏会
市民プール完成
富勢中プール完成
篠田三郎顕彰祭（県文化財室）
台風10号のため水田冠水
市内全域道路建築パトロール
臨時市議会

九月

六市対抗陸上競技大会
ダストボックス設置
開発協会新庁舎落成
結核五十年記念啓略者（記念品贈呈）
九月定例市議会（議長副議長再任）
防衛施設庁（電波制限）について陳情
柏駅城公館市市場開設促進協議会設立
手賀沼で花火大会

十月

勤労青年ホーム・市営住宅新築合同地鎮祭
千葉県戦没者慰霊祭
第一回市職員運動会
十次二葉団地譲渡申込受付
常盤線複々線化に伴う立休交差事業現地調査

十一月

商工物産展
農村体づくり柏地区大会
土・田中地区市民運動会
東葛地区中学校伝道競技大会
土小創立七十四周年記念式典
柏二小八十周年祝賀及び増築竣工式
第十二回柏市定期表彰式
柏郵便局新局舎落成
秋の火災予防運動
秋季市民野球大会

十二月

農業施設改善事業（昭和四十三年度分）
歳末助けあい運動
昭和三十九年市民所得調査結果公表
柏市消防団運動会
定例市議会



